

党東京都参議院比例区第55支部長

佐藤のぶあき(71)



例代表選出の参院議員として活動してきた私の一貫した姿勢です。今から50年以上前、高校2年生の時に、新潟地震で被災しました。橋が落ち、県営アパートが大きく傾き、石油タンクが燃えました。わが家は浸

国土を強くしなやかに

—地域の産業を新3Kの魅力ある職場に—

国土を強くしなやかに、災害に負けない安全なふるさとをつくる。そのため、インフラの整備・管理を充実させるとともに、ふるさとを守る人々、地域の建設、住宅、運輸、自動車産業などを新しい3Kの給料が良い、休日がある、希望・ユメが持てる魅力ある職場にしよう。

水し、1カ月以上、避難生活を経験しました。以来、地震、津波に負けない、災害に強い街を、ふるさとをつくるのが私の活動の原点となりました。

建設省、国土交通省に勤務し、道路局長や事務次官を務めた後、12年間にわたり比

東日本大震災の後、二階俊博幹事長を本部長として、私も筆頭副本部長を拝命し、自民党では国土強靱化推進本部による検討

が130回以上行われています。平成25年には国土強靱化基本法が議員立法で制定されました。これが事前防災・減災・強靱化計画を策定し実行していくベースとなり、平成30年12月には、政府は重要インフラを緊急点検し、3年間おおよそ7兆円の緊急対策が通常予算に上積みして実施されることとなりました。私は、さらに10年、15年の

す。まず働く人の給料・賃金を上げる必要があります。私がこれを訴えた結果、工費の見積もりに使う労務単価は7回、合計5割近く上がりました。賃金を確実に上げるためには経営者が採算改善しなければいけません。平成26年には公共工物品確法を改正し、その発注者たる国・県・市町村は受注者に適正な利潤を確保する責任がある、



インフラ整備の長期計画や予算増額の必要性について安倍晋三総理に訴える佐藤のぶあき支部長(写真1番右)

政策を総動員すべき時が来ていると訴え、皆さまと共に実行してまいります。

参院選

私の主張

私たちが往く時代は駅伝でいえば「箱根5区」です。見通しがきかない急な登り道。大変厳しい時代です。しかし、2区、3区が楽だったわけでは決してありません。その時代、その時代に先輩方が努力し苦勞を重ねてタスキをつないでいてくれました。5区の山道を懸命に走る若者に掛ける声援。本当は私たち自身に掛けなくてはならないのではないでしょうか。

時代の「一歩先」を見据えた政治を

—熟議と決断、実行で安心と成長を実現する—

先が見通しやすかった平地の走りとは区別の走りは違います。先進国を追いかけたといったキャッチアップの時代から、目標やモデルがない中で未来を切り拓かねばならない時代になりました。多様ななごころにイノベーションなし。多様な人材がネットワークでつながり、さらに情熱が加わる

しょう。時代の先を見通した施策は、「一歩先」故に批判を受けることも多いかもしれませんが、むしろ建設的な批判は歓迎すべきです。結果に対する責任は当然ですが、正確な分析や評価が必須であり、常に謙虚な反省に立った政策立案プロセスの再構築が求められます。政治家が自らの利益や評価に拘泥しては、その責務を果

りません。経済活力をなくせば日本は世界の中でその存在感を失います。成長戦略によって新しい需要を創造し、世界をリードしていくことこそ日本の生きる道であり、成長の力ギなのです。さらに、インバウンド観光や農産物輸出などで、「外の力」をいかに使っていくのかも地方創生の大きなカギです。



緊張感あふれる党税制調査会の会議で同僚議員を前に発言中の上月りょうすけ支部長

党茨城県参議院選挙区第1支部長

上月りょうすけ(56)



ここでインノベーションが起る得ます。時代の「二歩先」と「一歩後」。先の見えない時代には、このたった二歩の違いが大きな違いをもたらします。すでに必要なことに対応していくだけなら批判も少ないで

たすことはできません。おのおのがその役割を果たすことも重要ですが、個々人もそうですが、世界の中で日本が果たすべき役割、日本の中で茨城が果たすべき役割を意識すべきだと思います。まず取り組むべきは、「幸せな高齢社会の創造」です。世界先端の長寿国として、わが国の宝である国民皆保険を守り、安心

私のもットーは、「すべてのことを全力で」。さまざまな課題の答えは全て「現場」にあります。遠い将来を見据えつつ、これからは皆さまの声を聞き、現場と国をつなぎ、政策に魂が込められたものとなるよう自身の役割をこころ果たしてまいります。

上月 良祐(こうづき りょうすけ)

昭和37年12月26日生まれ。東京大学法学部を卒業し、自治省に入省。内閣官房や総理官邸での勤務、茨城県総務部長、同副知事などを経て、平成25年参院選で茨城県選挙区から初当選。参院内閣委員会筆頭理事、農林水産大臣政務官などを歴任。現在、党農産物輸出促進対策委員会事務局局長、党税調幹事などを務める。中高時代は柔道部、大学時代はアーチェリー部でともに主将。座右の銘は「すべてのことを全力で」

上月りょうすけ事務所

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-3-4渡辺ビル301
TEL:029-291-7231 FAX:029-291-8511
E-mail: info@kouzuki-r.com

上月りょうすけホームページ <http://www.kouzuki-r.com/>

佐藤 信秋(さとう のぶあき)

昭和22年、新潟県生まれ。昭和41年、新潟高校卒業。昭和47年、京都大学大学院修士課程修了。同年建設省入省、道路局長、事務次官を歴任。平成19年参院選で比例代表から初当選。参院国交委理事・対特委理事などを歴任。現在、党国土強靱化推進本部筆頭副本部長、全国道路利用者会議会長特別補佐、自動車連事務局長

佐藤のぶあき事務所

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-4-2
九段ウィズビル2F
TEL:03-3262-6635 FAX:03-3262-1900
E-mail: info@kokudo-saisei.net

佐藤のぶあきホームページ <http://www.sato-nobuaki.jp/index.html>